

事務事業評価シート

(H.28)No.	7003	(H.27)No.	7003
-----------	------	-----------	------

事務事業名	東山墓園造成事業特別会計		
担当部局名	担当室名	室長名	
地域環境部	環境対策室	猪田 徹	

会計区分	事業コード
東山墓園造成事業特別会計	(中事業名)※予算書事業名
款	
項	(小事業名)
目	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	3	快適な生活環境づくり
	施策	4	斎場・墓地
	小施策	2	墓地
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
<ul style="list-style-type: none"> ・先祖を追想できる適切な環境を整備し、人生終焉の場所にふさわしい、尊厳さを備えた運営をめざします。 ・市街地に隣接する緑豊かな環境にある東山墓園において、静寂さや美観に配慮した施設管理を進め、隣接する保全林とともに市民が自然に親しみ、憩うことのできる施設をめざします。
事業内容
<p>全3,211区画の墓所、休憩施設、附帯施設の維持管理を行い美しい環境を保ちます。また、第4期工事で完成した482区画について、年度計画に基づき貸付事務を行います。平成28年度に貸付を完了する予定であり、平成29年度以降は返還墓所があれば募集を行います。</p>

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)
	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者募集(2回)4期 46区画貸付 ・返還墓所 14区画貸付 ・施設維持管理等の委託 ・施設営繕工事 ・管理基金の積立 	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者募集(2回)48区画貸付 ・施設維持管理等の委託 ・施設営繕工事 ・管理基金の積立 	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者募集(返還墓所がある場合) ・施設維持管理等の委託 ・施設営繕工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者募集(返還墓所がある場合) ・施設維持管理等の委託 ・施設営繕工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者募集(返還墓所がある場合) ・施設維持管理等の委託 ・施設営繕工事

	H.27年度(決算見込)	H.28年度(作成時予算額)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)
①直接事業費	40,343千円	57,000千円	44,800千円	44,800千円	44,800千円
内訳(千円)					
国・県支出金					
地方債					
その他()	40,343	57,000	44,800	44,800	44,800
一般財源	(0)	0	0	0	0
人工数					
職員	0.80人	0.71人	0.72人	0.72人	0.72人
臨時職員等					
②概算人件費	(0千円) 0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
①+②総事業費	(0千円) 40,343千円	57,000千円	44,800千円	44,800千円	44,800千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
市民が必要とする区画数を供給することができました。また、適正管理の指導に応じない所有者への対応に苦慮しています。	適正管理がされていない墓所の使用者確認及び無縁墓地について検討します。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	適切な環境整備をされた墓地を供給することにより、快適な生活環境づくりに貢献できました。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
--	--------

具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
現況では、年間の墓地貸付数については需要を満たしており、将来の需要数を考慮しながら今後も貸付を行います。管理通路、休憩所、トイレ等共用施設の経年劣化に対する整備を計画的に進めていく必要があります。	